

SPシリーズのリモートコントロール端子について

2017年6月発行

株式会社 電菱

1：はじめに

SPシリーズは遠隔で本体電源のON/OFF操作ができるリモートコントロール端子を搭載しています。本書では本機能について説明します。

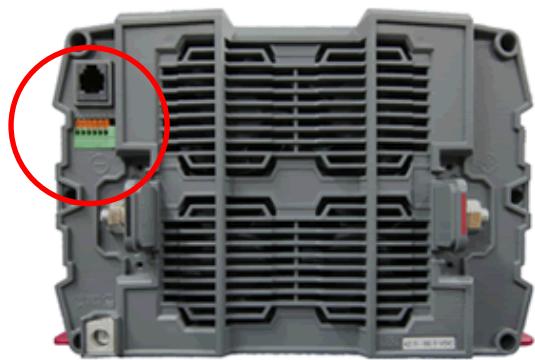
2：リモートコントロール端子が搭載されている機種と位置

SP-700 SP-1000

SP-1500 SP-2000



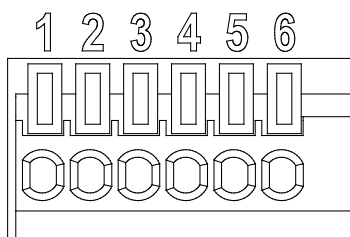
SP-3000 SP-4000



3：リモートコントロール端子の役割

SPシリーズの電源をONにしていると、負荷を使用していなくても自己消費電力がかかるため、バッテリー電力を消費します。リモートコントロール端子を使用して本体の電源をOFFにした場合、待機中の消費電力がほぼ0となり、バッテリー消費を低減させます。手動スイッチだけでなく、外部信号により操作ができるため、装置への組み込みにも適します。

4：リモートコントロール端子の詳細



番号	説明	番号	説明
1	無電圧接点(通常開放)	4	ENB
2	コモン	5	$\overline{\text{ENB}}$
3	無電圧接点(通常短絡)	6	GND

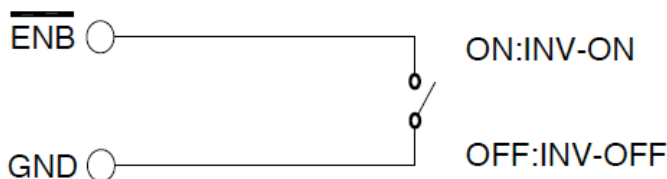
リモートコントロールには4,5,6番の端子を使用します。1,2,3番は無電圧接点です。

5：リモートモードの設定方法

5-1. インバータメインスイッチをリモート(Ⅱ)に設定してください。

5-2. 下記の制御方法よりシステムに最適なものを選択の上、0.2~0.5 mm²のより線を使用し配線してください。

5-2-1. リレースイッチを使用したリモート操作

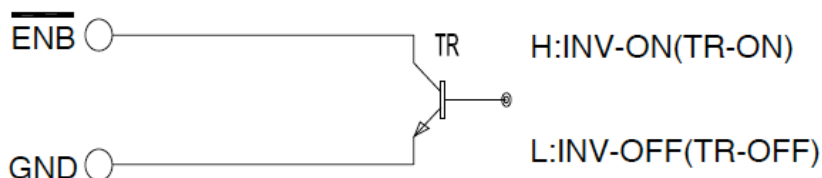


GND (6番)と $\overline{\text{ENB}}$ (5番)を配線します。

GND (6番)と $\overline{\text{ENB}}$ (5番)が短絡するとインバータの電源がONになります。

GND (6番)と $\overline{\text{ENB}}$ (5番)が開放されるとインバータの電源がOFFになります。

5-2-2. トランジスタを使用したリモート操作

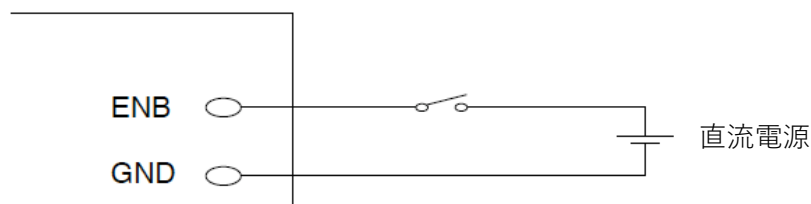


GND (6番)と $\overline{\text{ENB}}$ (5番)を配線し、間にトランジスタを入れます。

GND (6番)と $\overline{\text{ENB}}$ (5番)が短絡するとインバータの電源がONになります。

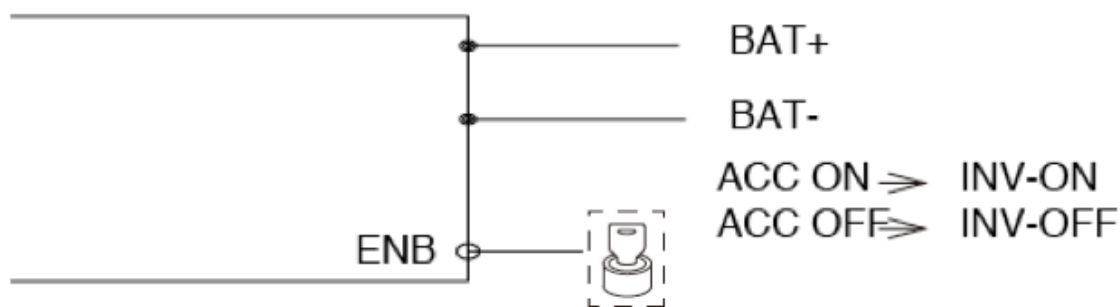
GND (6番)と $\overline{\text{ENB}}$ (5番)が開放されるとインバータの電源がOFFになります。

5-2-3. 外部直流電源を使用したリモート操作



GND（6番）とENB（4番）を配線し、間に電源を入れます。
端子に直流電圧が印加されるとインバータの電源がONになります。
端子に開放になるとインバータの電源がOFFになります。

5-2-4. ACC電源を使用したリモート操作



ACC系統配線の+側とENB（4番）を配線します。
ACC電源がONになるとインバータの電源がONになります。